



この人にインタビュー

#4

CLOSE-UP

クローズアップ

取材・文 池上幸希

南阿蘇ルナ天文台 オーベルジュ 「森のアトリエ」

みやもと たかし 宮本 孝志

オーナー

「森のアトリエでは天文台がト
レードマークとなっておりますが、宮
本オーナーが星に興味を持たれた
キッカケは？」

「思い起こすと、そもそもは天体現
象というわけではなかったんです
よ。幼少時代、私は山あいの川のそ
ばに住んでいたんですが、当時は
家にお風呂がなく、外灯もない
ような川沿いの道を母と歩いてお
風呂に行っている。その時に、おび
ただしい無数の光に包まれた光景
が鮮明に焼き付いていて……。実は
頭上の満天の星と共に輝く、ホタ
ルの群舞だったんです。」

「それはとてもロマンチックな記憶
ですね。」

「星に関して言えば、これまでで最
も感動したのは、ある人と一緒に見
た記憶です。これが若くて綺麗な
女性だったらロマンチックだけど
(笑)、私よりも30歳くらい年上の、

天文台の館長さんで。私はその時
に何の星を見てどんな説明をされ
たかは全く覚えていない。私にとっ
て大事だったのは、彼がいかに星が
好きで、天体が素晴らしいと思っ
ているか、それを一生懸命私に伝えよ
うとしてくれたことなんです。そ
れが心に伝わってきて、そんなに
人をとりこにする宇宙とは何とす
ごいんだらうと、感動したんで
す。」

「ルナ天文台のルーツみたいなお
話ですね。」
「そう。天文学というのは科学だか
ら、誰が見ても検証できないとい
けない。AがBであってはいけない
という前提があるんだけど、この
天文台では、もっと自由な見方でも
いいと思っています。確かに、星に
は人の感性に訴えかけるような力
がある。でもそれだけではなくて、
家族や恋人と一緒に、という想い
で見上げるかによって記憶の印象
というのとは異なってくる。星の光を
見て、どう感じてもらうかが大切
なんです。」

「なるほど。感じ方ならそれぞれ
ですね。」
「星を覗いている人を見る方が面白
かったですよ(笑)。ここでは、
星の勉強になればそれは幸いです
が、もっと直接星と向き合い、星を
体験して頂きたいですね。映画や
CDと、ライブで体験すること
は感動の深さが違うでしょう。森
のアトリエでは、天体観測や料理、
音楽と、阿蘇の空気の中で生の感

動をお届けすることをテーマにし
ています。お客様にも、私の言うこ
とではなく、実際泊まった方々の感
想を参考にさせて頂きたいですね
(笑)。」

「確かに口コミもライブ体験の一
つですが(笑)。では、オーナーの今
後は？」

「やはり星ですね。自分が好きな
ので、結局そこに行き着いてしま
います。星の見せ方に関して、もっ
と充実させていきたいと思っていま
す。天体知識を増やしたり、見せる
順番を工夫したり、操作技術も含め
たテクニックを上げていくというこ
とも大事ですが、お客様一人ひとり
とどうコミュニケーションを取るか
はもっと重要です。加えて、自分の
解釈や天体に対する想い、それを
伝えたいという強い気もちがなけ
れば人には伝わりません。テクニッ
クと同じくらい、メンタルも必要
なんです。最終的には、人と人との
つながりが一番大切なことなんです。
このように、天体と観る人との
仲介役になる人材を育てていくこ
とが、これからの私の使命です。」

「ますます楽しみですね！」

「秋に野外オペラも上演します。年
に一度、南阿蘇の自然の中でオペラ
と親しんでもらおうと企画しまし
た。「ヘンゼルとグレーテル」の演目
なので、小さなお子様でも楽しめ
ます。毎週日曜日には「ライナー」
コンサートも開催中なので、ぜひ森の
アトリエで本物の体験をお楽しみ
くださいな。」